

# 用務員の配置・勤務条件等見直し

## 【勤務条件・配置基準見直し】

### ① パートタイム化 (R9~)

#### 概要

フルタイムの一部を**パートタイムへ変更**

#### 背景

学校のデジタル化により印刷・電話対応等の業務減少。  
施設維持管理に係る配置職種の見直し。

見直し後の  
イメージ

業務別	配置	現状	⇒	見直し後	
施設管理	1人配置	👤	⇒	👤	児童生徒数で加配基準を満たしている学校のうち、施設管理に加配をしている学校は <b>パートタイムを2名配置 (対象：5校)</b>
	2人配置	👤👤 👤👤	⇒	👤👤 or 👤👤	
事務補助	1人配置	👤	⇒	👤 or 👤	児童生徒数が、300人未満の学校は <b>パートタイムを配置 ※段階的に引き上げ (R9対象：18校)</b>
	2人配置	👤👤 👤👤	⇒	👤👤	

### ② 勤務不要日の設定 (R9~)

#### 概要

夏休み2週間、冬休み1週間の「**勤務不要日**」を設定

#### 背景

H30~夏休み期間中に学校閉庁日を設定。  
教職員の休暇取得率向上に伴い、**事務補助**の業務量も減少。

#### 対象

事務補助 (パート)

※任用期間は変更なし (4.1~3.31)

勤務不要期間  
(夏休みの例)

日	月	火	水	木	金	土
8月	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	始業式		

### ③ 配置基準の柔軟化 (R9・10~)

#### 概要

パート2名校⇒フル1名校へ変更 (※①適用後)  
上記取扱を可能とするため、加配を「できる」規定とする。

#### 背景

柔軟な配置が可能となるよう、学校からの要望もあったため。

#### 対象

2名配置校の事務補助 (パート)

※**基準の見直しはR9に行うが**、用務員の退職時や年度替わりなどに、学校運営への影響を配慮しながら実施することを想定しているため、**実際の運用はR10~を予定している。**